I·O DATA

LANDISK HDL-GTシリーズ Mac OS版 セットアップガイド

B-MANU200586-01

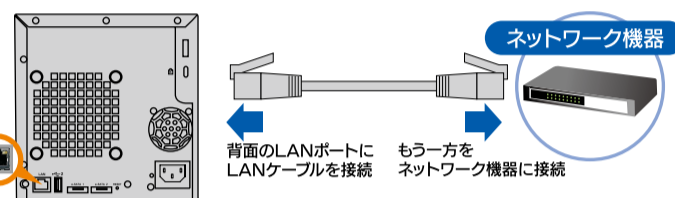
本紙をお読みになる前に、別紙【必ずお読みください】もご覧ください。
Windowsパソコンをお持ちの場合は、別紙【Windows版セットアップガイド】をご覧の上、Windowsパソコンより本製品の設定を行ってください。
また、Macintoshパソコンのみの環境の場合は、本紙の手順でMacintoshパソコンから本製品の設定を行ってください。

ネットワークに導入する

●本製品をネットワークに導入する手順について説明します。

1 ネットワーク内のパソコン、ルーター、アクセスポイントなどが正常に動作していることを確認してください。

2 ネットワークにつなぐ

本製品背面のLANポートに添付のLANケーブルを接続し、もう一方をネットワーク機器に接続します。

3 電源を入れる

❶ 添付の「電源ケーブル」を本製品背面の[電源コネクター]に接続後、電源ケーブルを電源コンセントに接続します。
⇒電源コンセントに接続すると、前面の[POWER]ランプが赤色で点灯します。

❷ [カートリッジ固定ロック]が[LOCK]状態となっていること、また、4台の[カートリッジ]のすべてのスライドスイッチが左側の[LOCK]状態となっていることを確認します。

❸ 本製品前面の電源ボタンを押します。
「ピポッ」と音が鳴り[POWER]ランプが緑色に点灯します。

4 STATUSランプを確認する

❶ しばらくすると、[STATUS]ランプが緑色で点滅し、約2分ほどで緑色に点灯します。

❷ 起動が完了すると、「ピー」と音が鳴ります。

STATUSランプが緑色で点灯している

以上でセットアップは完了です。
これで、本製品を使用できる準備は整いました。

続きは左下の【本製品にアクセスする】をご覧ください。

注意 本製品を導入するネットワーク内にすでに弊社製LANDISK※をお使いになっている場合は、既存のLANDISKの名前をご確認ください。
※HDL、HDH-UR、HDL-W、HDL-F、HDL-G、HDL-AV、HDL-GW、HDL-GZ、HDL-GX、HDL-GTの各シリーズ

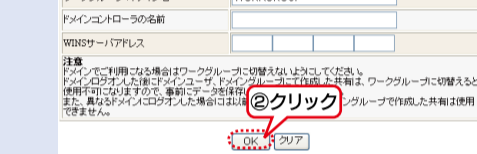
すでにネットワーク内で弊社製LANDISKをお使いになっている場合で、そのLANDISKの[LANDISKの名前]の設定が出荷時設定の"LANDISK"となっている場合には、本製品の[LANDISKの名前]を別の名前(例:LANDISK1など)に変更する必要があります。

設定は、本製品の設定画面にて行います。
①本製品の設定画面を開きます。
本紙右下の【設定画面の開き方】を参照してください。
②画面上の[メニュー]をクリックします。

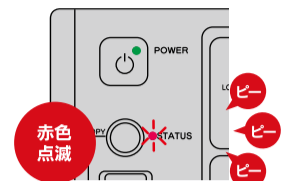
情報表示 | メニュー | ログオフ

③左に表示されるメニュー内の[ネットワーク]→[MSネットワーク]を順にクリックします。

共有サービス設定 / MSネットワーク設定 / TCP / IP　クリック

④[LANDISKの名前]を"LANDISK1"など別の名前に変更し、[OK]ボタンをクリックします。
※他の設定は変更する必要はありません。

⑤[結果]画面が表示されます。

以上で設定終了です。

STATUSランプが赤く点滅している

DHCPサーバーよりIPアドレスを取得できない状態です。
裏面の【本製品に固定のIPアドレスを設定する場合】をご覧ください。

注意 ネットワーク内にDHCPサーバーがない場合、[STATUS]ランプは赤く点滅します。

ネットワーク内にDHCPサーバーがあるのに点滅している場合は、以下の手順を行ってみてください。

①いったん、本製品の[電源]ボタンを押して本製品の電源を切ります。(右下の[電源を切るときは・・・]参照)
②DHCPサーバーが正しく動作していること、本製品とネットワーク機器がLANケーブルで正しく接続されていることを確認します。
③[電源]ボタンを押して、再度本製品の電源を入れます。

※DHCPサーバーがあるかどうかの確認方法については、別紙【必ずお読みください】裏面の【パソコンのIPアドレス】の項をご覧ください。

本製品にアクセスする

Mac OS X(10.3以降)の場合

❶ 画面下のFinderを開き、[ネットワーク]をクリックします。
しばらくすると、[Local]アイコン(または[My Network]アイコン)が表示されますので、ダブルクリックします。

❷ [landisk][※1]をダブルクリックします。
※1 本製品の[LANDISKの名前]を変更した場合は、変更した名前をダブルクリックしてください。

❸ [ゲスト]を選択し、[接続]をクリックします。

❹ [disk1]を選択し、[OK]をクリックします。

❺ デスクトップ上に本製品の共有フォルダ([disk1])がマウントされます。

正常にアイコンが表示されましたら、本製品をネットワークのフォルダとして使用できます。

Mac OS X(10.2.8以前)の場合

❶ [移動]メニュー→[サーバへ接続]をクリックします。

❷ 本製品に接続します。
①[サーバへ接続]画面で[場所]で[ネットワーク]または[ローカルエリアネットワーク]を選択します。
②[Local](または[ローカルネットワーク])→[landisk][※1]をクリック後、[接続]ボタンをクリックします。
※1 本製品の[LANDISKの名前]を変更した場合は、変更した名前を開いてください。

❸ [ゲスト]を選択し、[接続]をクリックします。

❹ [disk1]を選択し、[OK]をクリックします。

❺ デスクトップ上に本製品の共有フォルダ([disk1])がマウントされます。

正常にアイコンが表示されましたら、本製品をネットワークのフォルダとして使用できます。

Mac OS 8.1〜9.2.2の場合

❶ [アップルメニュー]→[ネットワークブラウザ]をクリックします。

❷ [ローカルネットワーク]→[ローカルサービス][※1]→[landisk][※2]を順に開きます。
※1 ご利用環境によっては表示されない場合もあります。
※2 本製品の[LANDISKの名前]を変更した場合は、変更した名前を開いてください。

❸ [ゲスト]を選択し、[接続]をクリックします。

❹ [landisk]の下に[disk1]が表示されます。
[disk1]をダブルクリックすると、デスクトップ上に本製品の共有フォルダ([disk1])がマウントされます。

正常にアイコンが表示されましたら、本製品をネットワークのフォルダとして使用できます。

設定画面の開き方

本製品の各種設定は、設定画面で行います。
設定画面は、Webブラウザに本製品のIPアドレスを入力して開きます。

❶ Webブラウザを起動して下記を入力し、[Enter]キーを押します。

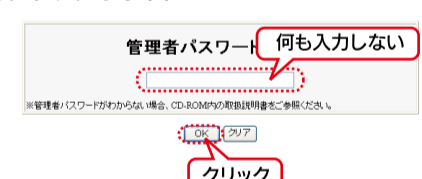
http://本製品のIPアドレス/

▼本製品のIPアドレスが「192.168.0.200」の場合での入力例

◎参考:本製品のIPアドレスの確認方法

DHCPサーバーがある場合の「本製品のIPアドレス」
ネットワーク内のブロードバンドルーターなどのDHCPサーバーが本製品に割り当てたIPアドレスをご確認ください。 ご使用のDHCPサーバー側にあるIPアドレスのリース情報が、本製品に割り当てたIPアドレスの情報を記録している場合があります。詳しくは、DHCPサーバーとなっている機器の取扱説明書などをご覧ください。
DHCPサーバーがない場合の「本製品のIPアドレス」
本紙裏面の【本製品に固定のIPアドレスを設定する場合】手順③で本製品に設定したIPアドレスを入力してください。

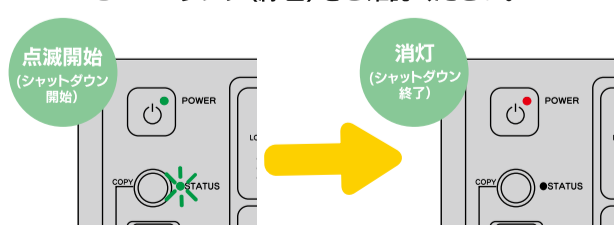
❷ しばらくすると、設定画面の起動メニュー画面が表示されます。
[管理者用設定ページを開く]ボタンをクリックします。

❸ 以下の画面が表示されます。何も入力せずに[OK]ボタンをクリックします。

❹ 設定画面が表示されます。
この画面から各種設定を行うことができます。

重要 電源を切るときは…

❶ 「ピッ」と音が鳴り、[STATUS]ランプが点滅するまで電源ボタンを押します。

❷ シャットダウンを開始します。
本製品前面のSTATUSランプ(緑色)とPOWERランプ(緑色)をご確認ください。

この間に、保存中のデータを内蔵HDDや増設HDDに書き戻しています。
しばらくお待ちください。

❸ シャットダウンが終了すると、自動的に電源が切れ、POWERランプが赤く点灯します。

本製品に固定のIPアドレスを設定する場合

ネットワークに導入後（本製品起動後）、[STATUS]ランプが赤く点滅している場合は、本製品のIPアドレスは、Auto IP（169.254.xxx.xxx）に設定されています。

※Auto IP環境のネットワークで本製品をご利用になる場合は、そのままご利用になれますが、固定IP環境のネットワークで本製品をご利用になる場合は、本製品にご利用のネットワークに応じたIPアドレスを設定する必要があります。設定画面は、設定用パソコンからWebブラウザで本製品のIPアドレスを指定して開きます。
[STATUS]ランプが赤く点滅している場合、本製品のIPアドレスはAuto IP[169.254.xxx.xxx]に設定されていますが、同時に[192.168.0.200]にも設定されています。
以下の手順は、[192.168.0.200]のIPアドレスを使用して、設定画面を開き、ご利用のネットワークに応じたIPアドレスに設定する手順です。

1 本製品のIPアドレスを決める

1. 現在ネットワークで使用している（IPアドレスを使用している）パソコンやネットワーク機器のIPアドレスとサブネットマスク・ルータ（アドレス）を確認し、メモします。（パソコンのIPアドレスの確認方法については、別紙【必ずお読みください】裏面の【パソコンのIPアドレス】をご覧ください。）

	IPアドレス	サブネットマスク※1	ルータ（アドレス）※1
1台目のパソコン	. . .	. . .	. . .
2台目のパソコン	. . .	. . .	. . .
････････････	. . .	. . .	. . .

2. 本製品のIPアドレスを決定し（以下の[参考]もご覧ください）、メモします。（サブネットマスク、ルータ（アドレス）は上記①で確認した値と同じ値をメモします。）

本製品のIPアドレス	本製品のサブネットマスク※1	ルータ（アドレス）※1
. . .	. . .	. . .

※1 [サブネットマスク][ルータ（アドレス）]の値はすべてパソコンと本製品で共通の値です。
ご利用環境によっては、[ルータ（アドレス）]は設定されていない（空欄）の場合もあります。

参考：IPアドレスの決め方
ネットワーク上で使用しているパソコンのIPアドレスと同じセグメント値※で、かつ、末尾の数字を上記で使用されていない値に設定します。
※IPアドレスはピリオドで区切られた4つの数字で構成されています。
最初の3つをセグメントと呼びます。
XXX.XXX.XXX.XXX
セグメント
右のようなネットワークの場合、本製品のIPアドレスは、192.168.1.xxx（xxxは、101、102、103以外）に設定できます。 例）192.168.1.104など

192.168.1.xxx　192.168.1.101　192.168.1.102　192.168.1.103

2 設定用パソコンのIPアドレスを一時的に変更する

本製品を設定するパソコンのIPアドレスを**一時的に変更**します。

本製品のIPアドレスを設定するために一時的に行うものです。本製品の設定画面を開くには、パソコンのIPアドレスを本製品のIPアドレス（192.168.0.200）と同じセグメントで、かつ、別のIPアドレス（以下の例では192.168.0.3）にする必要があるからです。
【① 本製品のIPアドレスを決める】の手順で現在のパソコンのIPアドレスをメモしていなかった場合は、メモしておいてください。

Mac OS Xの場合

1. アップルメニュー→[場所]（または[ネットワーク環境]）→[ネットワーク環境設定]をクリックします。

2. 設定用パソコンのIPアドレスを一時的に変更します。
①[表示：]から[内蔵Ethernet]または[Ethernet]を選択します。
②[TCP/IP]タブで[IPv4を設定：]（または[設定：]）から[手入力]を選択します。
③現在のIPアドレスを確認し、メモします。後で、現在のIPアドレスに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。
④一時的にIPアドレスを変更します。
IPアドレス：
192.168.0.3
（4つ目は、200を除く1～254のいずれか）
サブネットマスク：
255.255.255.0
⑤[今すぐ適用]ボタンをクリックします。

3. 画面を閉じて、パソコンを再起動します。

Mac OS 8.1～9.2.2の場合

1. アップルメニュー→[コントロールパネル]→[TCP/IP]をクリックします。
2. 設定用パソコンのIPアドレスを一時的に変更します。
①[経由先：]から[Ethernet]または[内蔵Ethernet]を選択します。
②[設定方法：]から[手入力]を選択します。
③現在のIPアドレスを確認し、メモします。
後で、現在のIPアドレスに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。
④一時的にIPアドレスを変更します。
IPアドレス：192.168.0.3
（4つ目は、200を除く1～254のいずれか）
サブネットマスク：255.255.255.0

3. 画面を閉じて、パソコンを再起動します。

3 本製品のネットワーク設定をする

1. Webブラウザを起動して下記を入力し、[Enter]キーを押します。
http://192.168.0.200/
2. 設定画面の起動メニューが表示されます。画面の[管理者用設定ページを開く]ボタンをクリックします。

設定画面が開けない場合は、右上の【困ったときには･･･】をご覧ください。

3. [管理者パスワードの入力]画面では、何も入力せずに[OK]ボタンをクリックします。
4. 画面上の[メニュー]をクリックします。
5. ネットワーク内にすでに弊社製LANDISKをお使いになっていた場合は、以下の 注意 をご覧ください。
6. [メニュー]の[ネットワーク]→[TCP/IP設定]をクリックします。

7. [①本製品のIPアドレスを決める]で決めたIPアドレスを設定します。
[次のIPアドレスを使う]をチェック後、本製品の[IPアドレス][サブネットマスク]の値を入力します。[デフォルトゲートウェイ]には、メモした[ルータ（アドレス）]を入力します。
入力後、[OK]ボタンをクリックします。

IPアドレス	【①本製品のIPアドレスを決める】でメモしたIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	【①本製品のIPアドレスを決める】でメモした[サブネットマスク]と同じ値を入力します。
デフォルトゲートウェイ	【①本製品のIPアドレスを決める】でメモした[ルータ（アドレス）]と同じ値を入力します。

8. [確認]画面で[OK]ボタンをクリックした後、[結果]画面が表示されたら、Webブラウザを閉じます。

本製品を導入するネットワーク内にすでに弊社製LANDISK※をお使いになっている場合は、既存のLANDISKの名前をご確認ください。
※HDL、HDL-UR、HDL-W、HDL-F、HDL-G、HDL-AV、HDL-GW、HDL-GZ、HDL-GX、HDL-GTの各シリーズ

すでにネットワーク内で弊社製LANDISKをお使いになっている場合で、そのLANDISKの[LANDISKの名前]の設定が出荷時設定の"LANDISK"となっている場合には、本製品の[LANDISKの名前]を別の名前（例：LANDISK1など）に変更する必要があります。
右の手順で変更してください。

1. 上記手順で設定画面を開きます。
2. 設定画面の[メニュー]→[ネットワーク]→[MSネットワーク設定]をクリックします。
3. [LANDISKの名前]を別の名前（例：LANDISK1など））に変更し、[OK]ボタンをクリックします。

4 設定用パソコンのIPアドレスの設定を元に戻す

設定用パソコンのIPアドレスの設定を元に戻します。
設定用パソコンをネットワークに接続する場合は、変更したIPアドレス・サブネットマスク・ルータ（アドレス）を元に戻す必要があります。①でメモした値に戻してください。

この後は表面左の【本製品にアクセスする】へお進みください

困ったときには…

※本紙に記載されていない質問やトラブルについては、CD-ROM内取扱説明書内の【困ったときには】もご覧ください。
①添付CD-ROMをパソコンにセットします。
②表示されたCD-ROMのアイコンを開き、[MANUAL]フォルダ内の[HDLGTMAN.pdf]をダブルクリックすれば表示されます。

「landisk」が表示されない（見つからない）場合

原因 接続が正しく行われていない
本製品の電源が入っているか（[POWER]ランプが点灯しているか）、LANケーブルがLANポートに接続されているか、背面の[ACT/LINK]ランプが点灯または点滅しているか、確認してください。
(パソコンを接続しているポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因 本製品と設定用パソコンのネットワークアドレスが合っていない
お使いのパソコンのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されている環境で、本製品のIPアドレスが「192.168.0.200」に設定されているなど、ネットワークアドレス(セグメント)が合っていないことが考えられます。
本製品のIPアドレスの設定を、お使いのネットワーク環境にあわせて設定してください。

原因 セキュリティ関連のソフトウェアが制限している
セキュリティ関連のソフトウェアの機能を無効にすれば、開ける場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

原因 landiskの名前で検索できない
IPアドレスを指定して、本製品にアクセスできないかお試しください。
詳細は、以下の【IPアドレスを指定して本製品にアクセスする】をご覧ください。

本製品のIPアドレスがわからない（DHCPサーバからIPアドレスを割り当てられているので）

以下の確認および対処を行ってみてください。

確認 DHCPサーバのリース情報でご確認ください
ネットワーク内のブロードバンドルーターなどのDHCPサーバーが本製品に割り当てたIPアドレスをご確認ください。
ご使用のDHCPサーバー側にあるIPアドレスのリース情報が、本製品に割り当てたIPアドレスの情報を記録している場合があります。詳しくは、DHCPサーバーとなっている機器の取扱説明書などをご覧ください。

確認 Windowsパソコンでご確認ください
ネットワーク内にWindowsパソコンがある場合は、添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。
詳細は、別紙【Windows版セットアップガイド】表面の【本製品に固定のIPアドレスを設定する場合】をご覧ください。

対処 DHCPサーバにIPアドレスを予約してご利用ください
上記確認手順で本製品のIPアドレスがわからない場合は、以下の手順を行って、本製品に固定のIPアドレスを設定後、DHCPサーバにそのIPアドレスを予約します。

①本製品の電源スイッチを押して本製品の電源を切ります。
（表面【電源を切るときは･･･】参照）
②本製品に固定のIPアドレスを設定するパソコンと本製品を直接LANケーブルで接続します。
③本製品の電源スイッチを押して本製品の電源を入れます。
④しばらくすると（約2分）、本製品の[STATUS]ランプが赤く点滅します。
⑤本製品に固定のIPアドレスを設定します。
手順については、左の【本製品に固定のIPアドレスを設定する場合】を参照してください。
⑥設定したIPアドレスをお使いのブロードバンドルーターなどのDHCPサーバ機器にIPアドレスを予約してください。
手順については、お使いのDHCPサーバ機器の取扱説明書を参照してください。
⑦本製品をご利用のネットワークに接続し直してください。

以上で設定は終了です。

IPアドレスを指定して本製品にアクセスする

本製品のIPアドレスが分かっている場合、本製品の共有フォルダにアクセスする方法として、本製品のIPアドレスを指定してアクセスすることもできます。

Mac OS Xの場合

1. [移動]メニュー→[サーバへ接続]をクリックします。
2. 本製品に接続します。
※画面は、本製品のIPアドレスが[192.168.0.200]での例です。

●Mac OS X（10.3以降の場合）
[サーバへ接続]画面が表示されますので、以下を入力後、[接続]ボタンをクリックします。
afp://本製品のIPアドレス／

●Mac OS X（10.2.8以前の場合）
①[サーバへ接続]画面が表示されますので [場所]で[ネットワーク]または[ローカルエリアネットワーク]を選択します。
②[アドレス]欄に以下を入力後、[接続]ボタンをクリックします。
afp://本製品のIPアドレス／

3. [ゲスト]を選択し、[接続]をクリックします。

4. [disk1]を選択し、[OK]をクリックします。

5. デスクトップ上に本製品の共有フォルダ（[disk1]）がマウントされます。

正常にアイコンが表示されましたら、本製品をネットワークのフォルダとして使用できます。

Mac OS 8.9～9.2.2の場合

1. [アップルメニュー]→[セレクタ]をクリックします。
2. [AppleShare]クリック後、[サーバのIPアドレス]をクリックします。

3. 本製品のIPアドレスを入力後、[接続]ボタンをクリックします。

※画面は、本製品のIPアドレスが[192.168.0.200]での例です。

4. [ゲスト]を選択し、[接続]をクリックします。

5. [disk1]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

6. デスクトップ上に本製品の共有フォルダ（[disk1]）がマウントされていることをご確認ください。

正常にアイコンが表示されましたら、本製品をネットワークのフォルダとして使用できます。

その他の使い方

**次のようなことをしたい場合は、添付CD-ROM内の取扱説明書をご覧ください。
（以下の【取扱説明書の見かた】をご覧ください。）**

- ●共有を作成したり、アクセス権を設定する
- ●ハードディスクやプリンタを増設する
- ●バックアップする
- ●RAIDモードを変更する
- ●FTPサーバーとして使用する
- ●出荷時設定に戻す
- ●その他、疑問やトラブルがあった場合

取扱説明書の見かた

添付CD-ROM内には、本紙に記載されていない各種設定や、質問およびトラブルの対処について記載されています。
以下の手順で見ることができます。

1. 添付CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. 表示されたCD-ROMのアイコンを開き、[MANUAL]フォルダ内の[HDLGTMAN.pdf]をダブルクリックすれば表示されます。

※PDFファイルを見るには、ご利用のパソコンにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。
インストールされていない場合は、Adobe社のホームページよりAcrobat Readerを入手してください。

R100 古紙パルプ配合率100％再生紙を使用

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2006.9.8発行